

014618-000-5

特16-673

本元一覽(善良多代理久佐)

大塚 寿平 / 刊

M25

ABB-1047



善良多代理久佐

本元一覽

全

永誠堂藏版







本元一覽

夫れ天地東西南北此れ大極にして晝夜の別つ有り然るといへども陰陽相
 ひ交る夜る十二時陽復にして陰中に陽ふ始る晝る十二時陰復にして陽中に
 陰ん始る陰陽互に終始するものなり天道之孚の日月星三光巡守して誠に
 其物終始す日本皇原之水穂之國の天より生民を降す男女別つあり人之
 位二千五百五十年餘年是れ尊敬奉るものなり明君衆人を主る奉職高く産
 業するか日本神國二神大祖と爲るなり神武天皇御代永續
 天神地祇御恩來萬人生活す祖先代々恩來にして産業する
 にかよひらす精々天神信仰祖先嚴重にいたすべきは是
 と學問薄くしても道理たがはず行ふものゝ維れ善人なり
 と學問薄くして家業を齋ふ天より之
 積善之家の餘慶あるものなり父子兄弟夫婦睦敷して家を齋ふ天より之
 をたすけて祐福を得るものなり仁愛義節尊敬これなく頓慾に勝つといへ
 ども不運にして富有あらざるものなり吉凶の家之仕合或人の仕合これ
 あるか天地之運氣にして其年月日時に倚るか氣質景行善惡或の禍福人生

に俱るか大運の其位を得其名譽を得其壽を得るものなり一陽來復にして
 大運富貴之始の貧家に生れるか此れ陰中の陽にして梅花爛漫と開くが如
 し梅信春に先つて夏至に熟實するものなり富家子孫誕生の譬バ奮嶺南枝
 花又新庶人氣質同じからず然とも其人と入と氣質比和する昔の何事も協
 ふものなり其道或の生れながらにしてこれを知らぬ人どあり此れ神妙の如
 し日本に於て釋尊空海上八儒者物茂郷御能書なり筆道武道の爛漫の如し
 震筆能書譬ば晝れ十一時比に位ひ爲るか擊劍の技に健震にして葉隠の術
 を行ふ此れ勝理多きものなり直方ハ雉子哇變を走るが如きものなり強慾
 我儘道に離れる無道にして物なりがたし成るといへども小細なり人心急
 成を好むといへども其善事譬ば冬ハ麥蒔して翌年夏至に豐熟収獲得る如
 きものなり辰巳凸地面に昆騰中應承受地相にして富家多し其業天道に協
 ひ財豐を得て強慾なさを自然盛大成るの中正にして子孫禍災なく富貴永
 續做すべきものなり凡そ事豫する時の則ち立つ豫せざる時の則ち廢る言
 前に定て則ち路すかす事前に定て則ち困します行ひ前に定て則ち疚ます

道前に定て則ち窮ます是れ時節要用たるべきものなり其心盡或ハ先生
 教説大經身に求め才藝知識長て己を脩め人を治るの術云爲顯然獨立貌盛す
 るものなり明德賢人の其事臨聞迅速物貨之を視る明了萬事智慧通達して
 仁愛正義之を行ふ天下の人と感服するものなり御維新文明開化町村學校
 盛大人人生七歳にして皆な小學に入る其人年十有五にして俊秀大學に入る
 修行上達譬ば高山麓とより峯に登るが如し學校卒業其人年二十五にして
 其職分にして僂焉と餘念なく忠孝を盡すの天下之人たるものなり木火土
 金水米綿ハ衣食住の用たる原由なり電信新聞郵便信用休日ハハ書畫これ
 を弄ぶ擊劍柔術稽古碁將碁發句俳諧これ慰む國風遊會酒ハ百藥之長に
 して宴樂保養するなり度々酔ひ過ぎて身を傷る此れ短命多し其人ハ凶を
 知て行ふハ此飛び頓で火に入る夏の虫巴黎佛國日本神國祭日ハハ美食を
 拵へ神祀或ハ美麗にして衣服を着て神參是れ敬神なり其人ハ博奕を娯樂
 にして負け勝ち入費無帖にして勝利覺へず入費場朽再三困入る事あり但
 し負る人の多きものなり醫師診察ハ脈を投り音を聞き體內五臟五腑剛柔

を知て藥能を以て五臟五腑を補ふ老醫の患者を補護するなり教師の讀書講釋して生徒教育するなり一家之眷屬を躰として本業勉勵するの一世の三十年二世六十年三世九十年にして代々相ひ繼ぐ或の子孫誕生或の農家店方人雇善人此れ運禧なり豊財の家を盛大に成す繼れ崇高なるべきものなり文武之道理の己を脩め人を治る事技なり老人未來のため佛信して無神信の行き届かざるなり天下古今之物事見聞比較して甲乙鑑定するなり其事豁然と喩を開き人心傷す惆悵あさの其道に志しを失なはず執行するものなり天津神之懷にして人間と生れ此れ第一或の長壽此れ第二或の息災此れ第三是れ嘉樂すべきものなり庶人念義を計り二世三世存命なるものなり迷悟我にあり六十年困て知之乎男女書籍を讀で案几すれば明人と成るなり毎月金曜日への金彦神巡守にて此の日の善事多し大人官長見へるなり親みをなし良友交を結び或の饌具あるなり其人之明盛の頭に天命を戴き兩眼日月の如く光明を出し胸への大綱之筭術を置き兩手の剛強を働く腹中には其事發するか喜怒哀樂未だ發らず大小發て皆な節に中る此

道理宜節なり足の虎の如く千里を走る此健悍なり千里の道も一步が本と成る小を積で大と成る是れ大觀亨徳 高大也神佛合併布教之事と成る教道にして三條教憲大本なり天下を治る大經あるものなり其道企慕して修行すれば聖人に勝る徳ある大人守護して其道に合せば人心快樂して盛大成るべきものなり天津神を祭祀すれば福徳を得る或の宜月宜日宜時に子孫誕生す其人の誕生の日の毎年祭祀すれば大旺と成る也社之祭の大ひ天地に報ずる冬至祭春季皇靈祭秋季皇靈祭此中日祭にして神祀供器の簞蓋なり敬神にして瑚璉なる物或の鳥井燈籠奉額獻納するの信仰永續の功はたらき用なり珍物町村に類ひなきの此琛寶なり明治の難有貴富にして從位を受て天下に名を發す或の風雅にして一名あり人の生涯の二百年を過ず人名の萬世永く遠徳なるべきものなり天下古今之文墨玩者學友にして皆正義なり日本國內衆人の善き心覺と成る事を發明して吉備大臣片假名を作す空海上人平假名を作す此大教師なるや維れ日本古今之一貴富或の景行功名の日本一縣内一町内一郡内一村内一此時になる天之命乎此人間一生涯

に初中末の三段あり初年の二十五年也其人五十一才の年高の内にして老翁也厥れ千人を秀するの行中に思はず物成る或の己に成て明なる是天神地祇之大徳盛ん成る御恩來也吉凶兆の身跡にあらはるか横風景行或の生涯之吉凶を知る一生誠了記此書籍を讀で心得れば店方に長吉人雇して番頭に爲るに宜しきなるか最要なる一身一家事業盛大之本元となれば難を除き善を招く之理にて不日製本出版するなり何事も其根元を知り日々新に執行するの物之善事と成るか爰に神國に生れる人の祖神を信んずる人の人人となる日本國內の人の生れても死しても皆天神地祇之儀と心得るべし迷ふ事なかれ其商業勉強する中にも運氣あり其農業勉強する中にも運氣あり依て朝夕時間あれば御神言に天地神明光華太盛と誦して尊敬し次に開運出世福徳盛集富饒永久と誦へて祈願するの宜しきなり農人財豊日に増し月に進み盛大となればをほぢ主と成るなり其一家の主人家属共に權理あるものなり其大地に種を蒔き天地之氣を受て成長熟實して豊年の善き物にて此三徳なり主人家属共に榮花をするなり其富家の大木の如

し英木に順風の大吉なり暴風の大凶なり日本のこがねの天下の人の頂戴するにて高崇なるべきものなり其金氣を金彦神と稱贊するなり金の澤山に入り來る家を富貴と云ふなり珍物財産ある家を大家と云ふなり帝王御紋の有る金錢の二才の小兒も信んずるなり帝王大徳御恩來のありがたし漂る大御國の浮世なり其男子或の女子誕生して喜び名附するの著明なり此の時親戚或の懇切の人皆集會して酒宴或の祝詞の詩や歌發句を思ひべきの宜しきなり喜びの祝ひも身分相當に爲るべきものなり人亡諡稱して禮拜するの式跡なるに酒宴すれば哀みを忘れ醉狂に戯るの心得違ひか其喜びの時に悦び哀みの時に悲みするの神國の申習にして心中にあるか他國に誕生の時に哀み死去の時に喜び酒宴するの此れ節に中るか萬事明密なるの要たるといへとも盡しがたし茲に善長多代理久佐の天祿に順時欲て日に増し月に進み盛大に成る所以なり天照日神月神星神地神水神金彦太神伊非諾尊人武天皇の人と生活するの元々になるか人の天地之神さまの御恩來を大小受るものなり

神歌十二月

いにしへも今もかひらぬ天津神おめぐりありて守りあされる二神よりお
たねをつぎて日本の繁昌するも神のめぐみぞさいわひを守りなされるの神
さまでしんする人を護りなされる四方までおてらしなされる神さまの日月
星のさかんなるかな極樂の心の内よある事をしらざる物が多くあるかな
ろかいにて舟をのるにも梶とれば自由自在に動く舟かな七なんをはらい
たまふばその家の永く久しく世のさかんなるはらたてなしんぼうすれば
かねとなることしの末にの樂となる苦いくも胸をいためることなかれ
さとりてみれば樂となる十人が神なし月といふ事はいんけいなれば陽ふ
けいのなしいちようのめぐり来るのありがたし信する家のさかんなるか
な二世三世ながいさするのありがたし神の恵も厚き物から

七曜之事

日曜日此日の天照日神を禮拜し善道を行ふ婚禮或の財を納む或の入學移
轉或の井堀竈塗或の庭や造り等に吉し家普請にのよるしからず

月曜日此日の頭を洗ひ爪をさきり新き衣服着初或の移轉等に吉し

火曜日此日の盜賊を捕へ或の武藝或の馬に乗る等のはげしきに吉し種蒔

家造嫁娶などにあし

水曜日此日の入學出行或の家敷祭或の庭や造など吉

木曜日此日の神佛參詣或の入學或の新き衣服をたち新き衣服着初或の婚

禮移轉或の宮建家立藏立竈立庭や立て惣て目出たき事に大吉訴訟爭論な

との大凶

金曜日此日の冠衣を着け親み或の婚禮に吉し獵漁の凶

土曜日此日の田宅賣買ひ竈造或の厠を立るに吉し婚禮桂立或の土をうご

かす井堀耕作初に凶し

世の中に富貴にして仕合宜しき人の吉凶を見ずしても必ず仕合宜しき
なり然とも弓の矢竹にても矢筈を附て放てば強く遠方迄行く道理なり
斯に吉凶を見て吉さを行ふの御祈禱する道理なり此に衣服をたつと衣
服着初とするに吉日と凶き日とあるなり月曜日木曜日この吉日なり是を

其始をなし終をなして萬物終始するの天徳に資ざる事なきなり天より鬼神に命じて雲を行し雨を降すなり鬼神の吉凶をなす人と吉凶をなす其人に迷悟ある魯の國の大夫臧文仲の大事ある昔の龜卜して大業を行ふ日本に於て久吉の易の占を得て心中決定し其大業を行ふなり其農商の人の易の占を得て決心して進退する乎其人と敬神之道を行ふの善良なり善良之長の天地之神さまなり其人に孚あると云ふの朝起て手を洗ひ嗽て心を清潔にして天地之神を禮拜す或の神社に參詣禮拜するの是もまことに信心なり其病氣重りし時の疾病平愈の御祈禱するの五倫の愛護にして人心情愛の深き事なり其神を祭るに齋と云ふて物忌をなし敬神して思願するに身を清淨にいたし心の一途になして忘念なく誠に祈願する也生れして行ふことのそなわるの天神ちさの命とする心たに孚のみちに協ふ人天神ちさの厚く守りし其富貴や立身出世して權理あるの人心天道之孚に協ふと云ふ依ての天の厚き御恩を受けたる人の厚く尊敬するの人道なり諸事述るといへとも的當する事堅くならず然とも善事と云ふにの善事多し

惡事と云ふにの惡事多きなり萬物感くに其性命を全ふする乎其地より草木生るの此地大徳盛なる哉孟子も母の諫にて成就すると云ふなり此の馬に箠打てば早く走るなり風雨順時草木日新樂只農人福利成之此天下大平なり忠信孝悌此天祿受身事業盛大高名顯然家属安穩此天謀するの本元の善き始となる乎則ち善道を行ふの自然盛大にして煥とするなり福人榮利子今日箒箒舟草木荒風惡し東風午後盛學校生徒務事業此日新此風船弄々明月出時の様子日のあしに苔開やけさの梅○萬靈金殿大明宮千里清光世上通白兔青空東出に進む浩然成徳百花の紅枝ぶよりや花に文あり八重櫻○劍術居高照眼紅賞心無象備清躬燭龍早出天經進む人意明時四望に通す此天神健震流心得也葉の間に卵容なる茄子かな抑武道本元の天を仰で法の立てたるもの乎人皇十三代成務天皇御兄日本武尊草薙の劍を持て膽吹山の岩間にて惡魔を退治たる御心徳の深き事なり武道の神代之法器大哉源義經の弱年の昔武道明かなるや京都五條の橋にて武藏坊辨慶の豪傑と試合したるに源義經勝理あるなり源義經武道明了なる故縁の白川鬼一法眼

息女に勸て虎の巻を借りて誦行心盡したるにて武勇顯然たり虎の巻の吉備大臣鞍馬山に納たるの元祖と云なり茲に天神健甕流本元の摩理紫岳大明神信仰して文道大輝の詩や歌や熟視熟考して試合に莅むが修行肝要なり文道不見して擊劍勉々するといへども上達遅きもの乎

彰徳不思議之事

禰川安胤通行するに道の傍に五十間ばかりの高さある石山あるに其峯にて有る人石靈いせを持って石を碎りよる其下の道に通掛るに峯の石既に落るばかりに見へるにて禰川安胤足を止め見る内に峯の石割て落たり有る人も續き落て道に留り直に禰川安胤側迄で走り來る此不思議なるにて東たの何人あるや名何と云ふ御方と尋れば答て曰く我の彰徳と云ふ石工なるものどのたもふ依て東の今峯より落て直に歩行したる御奇妙の術を傳へ下されと願へば彰徳の曰く此術の我の八より傳へられたるにあらすと云ふて直に石山峯に走り上りて見へす此夢なるか不思議なる事なり是も摩理紫岳大明神さまの教へなると尊敬して武道脩練するものなり此天神健甕流企慕する御方への祕事共に悉皆相傳可仕事抑筆避の晝夜を本元とする乎摺書の方なるもの草書くさの圓なるもの統て陰陽也草書に諸の晝風あるの晝夜の時に順する乎陽之象の圓なり是草書本元とするなり諸事編て恐縮

明治壬辰二月興繚記ス

明治廿五年四月十五日印刷

明治廿五年四月十五日出版

代價正七錢

徳島縣平民

發行者 大塚壽平

大坂市東區京橋三丁目六十七番屋敷寄留

印刷者 今井彦兵衛

大坂市東區京橋三丁目百九十二番屋敷平民

5

3